

# 東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	生化学講座紹介
別タイトル	Department of Biochemistry
作成者（著者）	中野, 裕康
公開者	東邦大学医学会
発行日	2020.06.01
ISSN	00408670
掲載情報	東邦医学会雑誌. 67(2). p.79 80.
資料種別	学術雑誌論文
内容記述	教室(診療科)紹介
著者版フラグ	ETC
JaLDOI	info:doi/10.14994/tohoigaku.2019 060
メタデータのURL	<a href="https://mylibrary.toho u.ac.jp/webopac/TD57932937">https://mylibrary.toho u.ac.jp/webopac/TD57932937</a>

## 教室(診療科)紹介(117)

### 生化学講座紹介

#### 生化学講座

教授：中野裕康  
 准教授：山崎 創, 森脇健太  
 講師：土屋勇一

#### 講座の概要

当教室の歴史は古く、大正15年に帝国女子医学専門学校の医科学教室に高木逸雄先生が初代教授として赴任されたところから始まります。その後2代目 藤井暢三教授, 3代目 高田蒔教授, 以降は二人教授の時代(浅田敏雄教授,

柳澤勇教授, 天野久夫教授)が前任の山下茂教授まで続いていました。浅田敏雄先生は教授退官後に、東邦大学学長や日本私立医科大学協会会長を歴任された大変ご高名な先生でした。8代目教授として中野が2014年4月より生化学講座に赴任し、現在に至っております。その後2015年4月から生化学講座/生化学分野と生化学講座/病態生化学分野の2分野体制に移行しております。

#### 研究の概要

私たちの研究室では、細胞死や酸化ストレスにより誘導される生体応答の解析を中心に研究を行っています。細胞死や酸化ストレスは生体の恒常性維持に関与すると同時に、その制御異常は様々な病態の形成に関与していることが明らかにされてきています。研究室では、分子生物学的、細胞生物学的、生化学的手法はもちろんですが、形態学的なアプローチ(光学顕微鏡, 蛍光顕微鏡, 電子顕微鏡などによる解析)も重視して研究を展開しています。また独自に樹立した様々な病態モデルマウスを解析することで、ヒトの病態の本質に迫る研究や、慢性炎症性疾患やがんなどの疾患の新たな治療法の開発を目指したいと思っています。もちろんマウスを扱いたくないという人でも、培養細胞を用いて細胞死制御のメカニズムを解析しているスタッ



2019年4月 撮影

フもいるので全く問題ありません。研究の内容や publication list は研究室のホームページ (<http://tohobiochemi.jp>) を参照してください。

私が東邦大学に赴任して6年が経過しようとしています。これまで大森病院呼吸器内科の大学院生2名、大橋病院膠原病内科大学院生1名、東京理科大学基礎工学部修士学生2名、博士学生1名が私たちの研究室に加わり研究を行なって来ています。基礎研究に興味のある方、あるいは

は臨床研究だけでなく基礎研究がどのようなものかを知ってみたいという方は、是非我々の研究室に加わり、実験を試みませんか？長い一生を考えた場合に2~4年間研究三昧の日々を送ることは臨床医を含めて、どのような職業につくにしても必ず将来的に役にたつと思います。

(中野裕康)

DOI : 10.14994/tohoigaku.2019-060